



同社初の高機能ヘッドフォンとUSB DAC内蔵小型アンプ ヘッドフォンの音の楽しみを大きく広げる

文：角田郁雄



ADL
H118 ヘッドフォン
¥23,100

ADL
X1 ヘッドフォンアンプ
¥41,790



■着脱式ケーブル：H118はケーブルが着脱式で、コネクター部はα (Alpha)mini XLR。将来的には、バランス対応など、いろいろなバリエーションも考えられる。

スバリ！音の特徴・魅力はここだ
ヘッドフォン、H118はイヤードットが逆三角形のような形状で、使い始めは硬さを感じるかもしれないが、なじんでくると、密着度はかなり高まり、外部との遮断性が高まる。その音質は、音量を上げても、歪み感(音割れ)が少なく、演奏の様子がくまなく聴ける解像度の良さが印象的。スタジオ用といっても良いほど、微細な音まで再現し、明瞭度が高い。特に、中低域が高密度で、音楽を刺激感なく、楽しませてくれる。長時間使用しても聴き疲れしないことも大きな特長だ。

USB DAC内蔵ヘッドフォンアンプのX1は、大型DAC内蔵ヘッドフォンアンプと比較してはいけませんが、電池駆動のポータブル型として、かなり高音質。私は色々なヘッドフォンも試したが、ドライバー制御力が高く、レスポンス特性に優れる。歪み感とカラーレシジョンの少ない、リアリティの高い再生音が楽しめた。

気になって、スベックを調べてみると600Ωというハイインピーダンスヘッドフォンも駆動できるとのことだから、これはすごい。P.Cとも接続して、USB DACとしてハイレゾ音源を再生してみたが、これも、まったくあなどれない音。十分な空間性とリアルな音像を描いてくれた。

なるほど！使いこなしのアドバイス

H118ヘッドフォンとX1ヘッドフォンアンプの組み合わせは、理想的で、ヘッドフォンの実力が発



■X1のフロントパネル：
赤色のガードがついたボリューム（電源兼用）とφ3.5mmミニの入出力などを配置。



■X1のリアパネル：
iPhoneなどとデジタル接続できるUSB Type Aと、PCなどと接続するType Bを装備。

プロフィール & テクノロジー

ADL（アルファードesign・ラボ）は、高品位なオーディオコネクター、電源プラグ、そしてケーブルを発売するフルテックのオーディオブランドである。

いち早く、PCオーディオやヘッドフォンの製品を発売してきたが、今回は、同ブランド初のヘッドホンH118と、192kHz/24bit対応USB DAC内蔵ヘッドホンアンプX1を紹介する。

まず、ヘッドホンαADL-H118。は、スポーティーなデザインで、イヤークップはアルファード・トリフォーム・イヤークップといい、従来の円形イヤークップでは耳の周辺に隙間を生じたが、これを改善し、フィット感とドライバーによる音の再現性を高めている。搭載されるドライバーには、40mmポリマー振動板が使われ、特殊高性能マグネットと銅をコーティングしたアルミ合金ワイヤーで磁気回路を構成。レスポンス特性を高めている。

同時発売のUSB DAC内蔵ヘッドホンアンプ、X1は、小型ながら、あなどれない機能と技術を搭載する製品だ。iPhoneとドックケーブルで接続すれば、ミュージック内の音楽のデジタル再生が可能、PCでも再生できる。ステレオミニジャックのアナログ入出力も装備するので、他の携帯プレーヤーとアナログ接続も可能で、さらに光デジタル出力も装備。小型ながら、ヘッドホンやデスクトップオーディオ愛好家なら、ちょっと手にしたくなる活用度の高い特徴を備えている。

内部回路にはX-MOSマイコンを使った本格的なUSBレシーバーを搭載し、DACチップにはESS社製ES9023を搭載。ヘッドホン/ライン出力には、TI社のLMV832という、電磁波に強く電池の消費が少ない高品位なオペアンプが使用され、これは、かなり高品位な仕上がりがた。

家には立派なオーディオシステムがあり、仕事の合間や移動中など、片時も音楽が欠かせず、いつもiPhoneを活用する方はもちろんひろくヘッドホン愛好家に、この組合せをお勧めしたい。また愛用のイヤフォン、ヘッドフォンがあるなら、高品位な技術を搭載し、ドライブレカのあるX1は断然、お勧め

スピーカーがおすすめポイント

揮できる。H118は98dBと音圧が高い一方、インピーダンスは68Ωと低いので、X1の音量をさほど上げずとも、十分な音量が聴け、内蔵電池の保ちも良いのである。X1に他のヘッドフォンを使う場合も、高い音圧レベルで、インピーダンスの低いヘッドフォンを使うと、ヘッドフォン駆動効率が良く、電池の消費も少ない。

H118

●型式：ダイナミック・密閉型 ●ドライバー：φ40mm特殊マグネット ●インピーダンス：68Ω ●感度：98dB/mW ●コード：片出し3.0mストレート（着脱式） ●重量：245g（ケーブル含まず）

X1

●デジタル入力：USB ●対応サンプリング周波数・ビット数：8k/16k/32k/44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz（16、24、32bit） ●アナログ出力：ヘッドホン1系統 ●デジタル出力：光1系統 ●出力レベル（1%THD 1kHz）：78mW（12Ω）、94mW（16Ω）、110mW（32Ω）、98.6mW（56Ω）、23mW（300Ω）、16mW（600Ω） ●電源：USBバスパワーまたは内蔵充電池 ●寸法・重量：68W×16.5H×118Dmm・147g

だ。PCと組み合わせ、デスクトップオーディオを楽しみたい方には、X1とパワーアンプ内蔵の、いわゆるアクティブスピーカーというのも楽しい。スマートフォンでハイレゾ音源まで楽しめるのである。



フルテックでは、インドアでの使用を前提にした小型デスクトップタイプのUSBオーディオインターフェイス/ヘッドホンアンプESPRIT（オープン価格）も用意。192kHz/24bit対応USB入力やSPDIFデジタル入力なども備え、デジタルプリアンプとして使える。ヘッドホン出力は224mW。また、オーディオインターフェイスとしても機能し、PCへのデジタル録音が可能な多機能機だ。